

2章 青森らしい広告景観のつくりかた

2-1. 広告景観の取り組み方針

■ 共通ガイドラインと地域別ガイドライン

青森県広告景観ガイドラインは、共通ガイドラインと地域別ガイドラインがあります。**共通ガイドライン**には県全域で共通して目指していく必要がある事項、**地域別ガイドライン**には地域ごとの景観の特性を生かした広告景観をつくるための守るべき事項を示しています。青森県特有の気候風土を考慮した共通ガイドラインと地域別ガイドラインにより、質の高い広告景観づくりを目指しましょう。

■ 青森県の5つの広告景観の特性

青森県は、広大な県土の中に、地域のシンボルとなる山稜、海浜を臨む眺望、市街地や幹線道路の賑わいなど様々な特性の景観があります。これらの景観の特性により5つの地域モデルに分けることができます。

青森を代表する美しい自然景観

A 田園・果樹園の広告景観

B 眺望のある広告景観

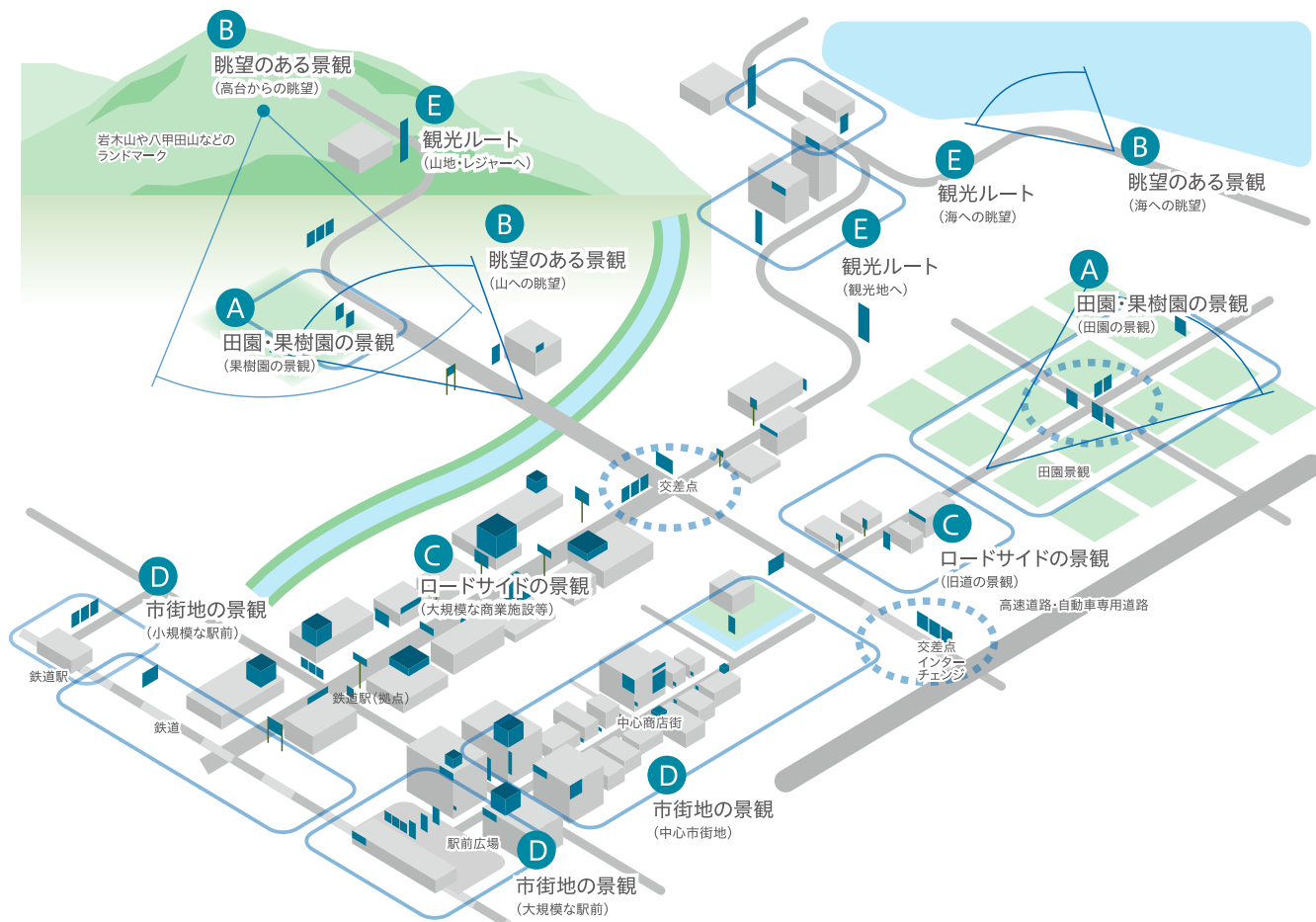
賑わいと活力が感じられる街並み

C ロードサイドの広告景観

D 市街地の広告景観

旅の高揚感を高める町の玄関口や道路

E 観光地・観光ルートの広告景観



青森を代表する美しい自然景観

A: 田園・果樹園の広告景観

田園、果樹園、畑、牧場などの市街地近郊から山稜部周辺に存在する二次的自然景観のある広告景観です。県土にひろがる代表的な景観です。



B: 眺望のある広告景観

岩木山や八甲田山等、県土を代表するランドマークへの眺望や、海浜沿いの道路から見える海浜への眺望がある広告景観です。



賑わいと活力が感じられるまちなみ景観

C: ロードサイドの広告景観

自動車での利用を主とする商業施設が立地している幹線道路の広告景観です。都市間に立地するため眺望景観や観光ルートとも密接に関連します。



D: 市街地の広告景観

中心市街地であり、駅前や商店街、また歴史的な街並みの広告景観です。地域や商店街でのまちづくりと連携した取組などもみられます。



旅の高揚感を高める町の玄関口や道路

E: 観光地・観光ルートの広告景観

駅や高速道路の出入り口等から観光地に至るまでの広告景観です。自然景観が楽しめる通りが多く見られます。



2-2.共通ガイドライン

■わかりやすく効果的で好感の持てる広告づくり

情報量を抑える

必要な情報を絞り込み簡潔に表現する。

色数を抑える

色も情報である。少ない色数で伝える工夫をする。

文字サイズ・書体を適正にする

広告物の視認距離に適した文字サイズや書体を検討する。

レイアウトを整える

情報の優先順位を整理し、まとめりや対比・強調、余白の活かし方などバランスを整える。

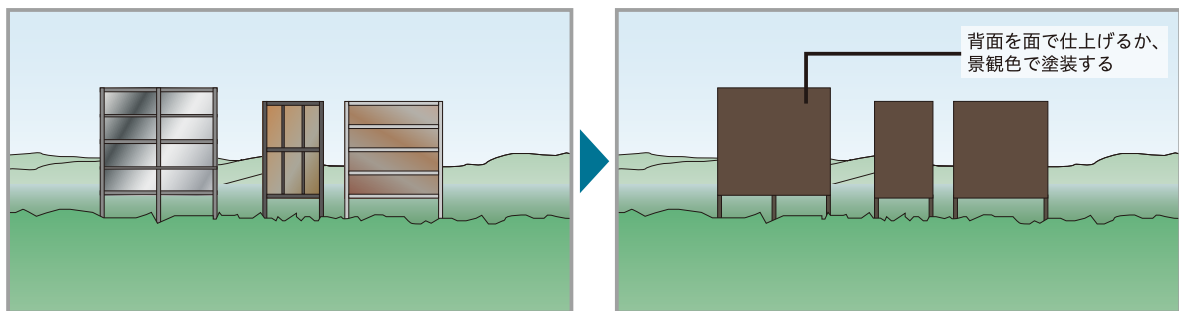
表示面以外にも気を配る

支柱や背面についても、塗装等の仕上げに配慮する。



「情報量を抑える」「レイアウトを整える」

「色数を抑える」「情報を抑える」



「表示面以外にも気を配る」

裏面を仕上げた事例



神奈川県横浜市



福岡県福岡市

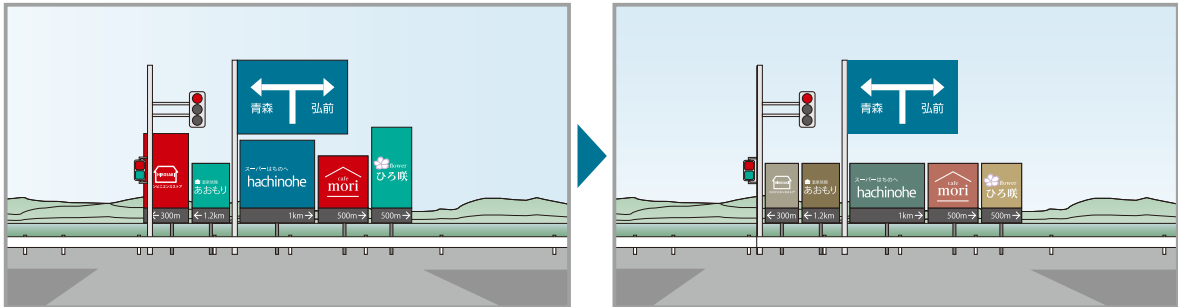
■安心・安全な交差点の広告づくり

交通信号機や道路案内標識より
高さを抑える

交差点付近では、信号や標識への視線を妨げない高さ
や位置とする。

派手な色は使わない

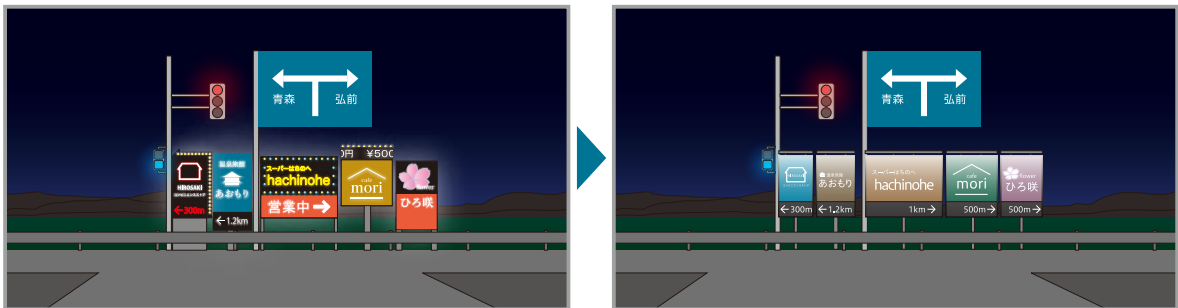
交差点付近や道路標識が設置されている付近では、表
示面に標識の近似色や彩度の高い色は使用しない。
(※彩度8以下とする)



「交通信号機や道路案内標識より高さを抑える」「派手な色は使わない」

電光式広告物は用いない

交差点付近では、信号機の視認性を阻害する恐れのある
映像表示装置（デジタルサイネージ等）、点滅広告物な
どの電光式広告物は用いない。



照明を伴う看板についての注意事項-1

光源が点滅する広告物（外照式・内照式含む）は、
信号機の視認性を低下する恐れがあるため交差点付
近での使用は控える。

照明を伴う看板についての注意事項-2

広告物の照明は、光源の露出を避け防眩カバー等
を設置する。外照式照明においては、必要最小限の照
射範囲とし、遮光用カバー等により周囲への漏れ光
を抑えるよう配慮する。また、信号機の信号灯火色
と類似する照明色は使用しない。

参考：JIS安全色について

JIS Z9101-1995の安全触及び安全標識の
基準により、案内標識のマンセル値が定め
られている。広告物の色彩は、交差点での
行動の判断を妨げないよう、全ての安全色
の彩度を超えない彩度8以下を推奨する。

色彩



赤
7.5R4/15
防火
禁止、停止



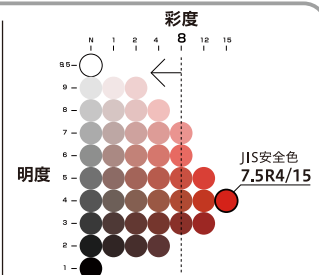
黄
2.5Y 8/14
義務的行動



青
2.5PB 3.5/10
義務的行動
指示



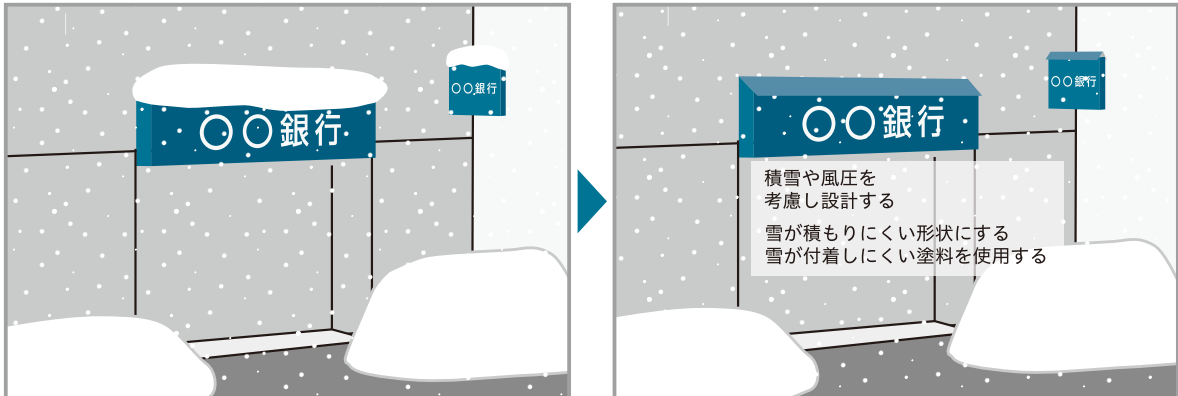
緑
10G 4/10
義務的行動
指示



■ 耐久性を備え、維持管理のしやすい広告づくり

積雪や暴風に備えた仕様とする

表示面の上端に雪が積もらないように、勾配をつける、または雪が付着しにくい仕様にする。



「積雪や暴風に備えた仕様とする」

定期的な点検を行う

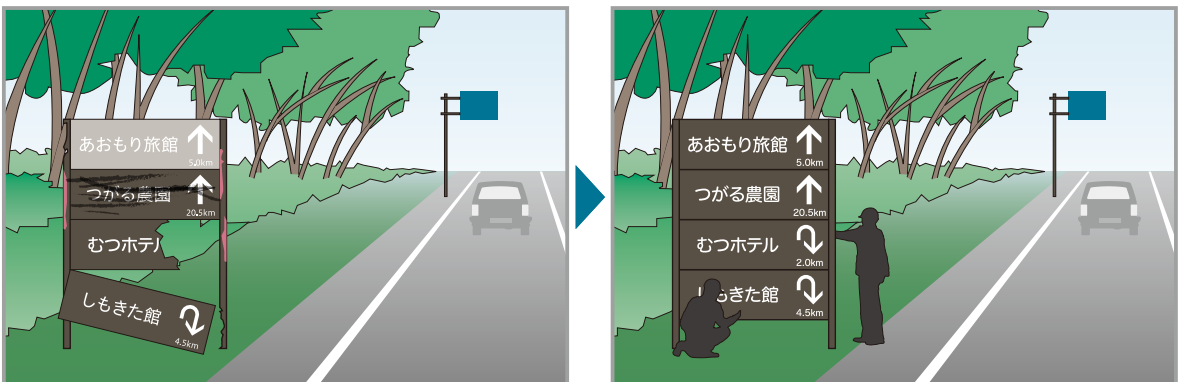
広告主は、広告物の定期点検を行い、老朽化のレベルに応じて、補修・修繕・交換・撤去の対応を行う。

メンテナンスしやすい仕様とする

汚れにくい素材や、清掃しやすい構造などとする。

耐久性の高い材料選定、 構造の検討を行う

錆や腐食等による事故を防ぐため、十分な構造検討を行い、耐久性に優れた材料を選定する。

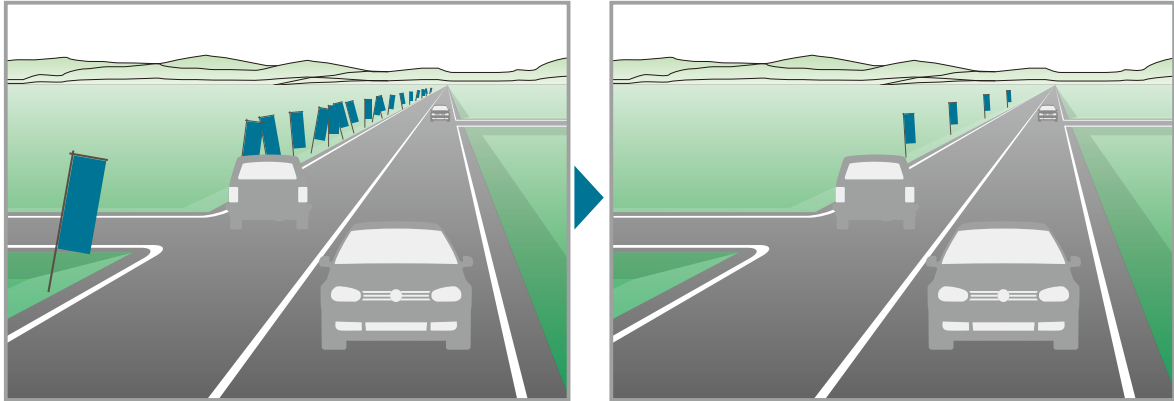


「定期的な点検を行う」

■簡易広告物の乱立を控える

効果的に掲出する

簡易広告物はイベント等、短期間に限定的に用いることで効果的に掲出する。



「効果的に掲出する」 ※高さや設置位置を揃え、必要最小限の表示のみとする



自家用広告物とのぼり旗のデザインを揃え、良好な企業イメージと景観調和を両立した例



限られた区間にのぼり旗を集中し、通りの演出を図った例



短期間のイベントのために、のぼり旗の高さを揃え、演出効果を高めた例



わかりにくい入り口の両サイドに、ゲート状にのぼり旗を設置した例

2-3. 地域モデル別ガイドライン

A: 田園・果樹園の広告景観

山麓にひろがる広大な平野の生活風景を生かす

圧倒的なスケール感でひろがる田園や、四季折々に豊かな変化を見せる果樹園など、人間の営みと一体となった美しい景観が特徴です。山麓にひろがる広大な平野の生活風景を生かすため、広告物は控えめにすることが良好な景観づくりへとつながります。

■ 豊かな田園・果樹園を見渡せるよう広い視界を確保する

■ 背景となる田園・果樹園を美しく見せる色彩計画を行う



青森県青森市



山梨県北杜市



青森県田舎館村



アメリカ ミネアポリス



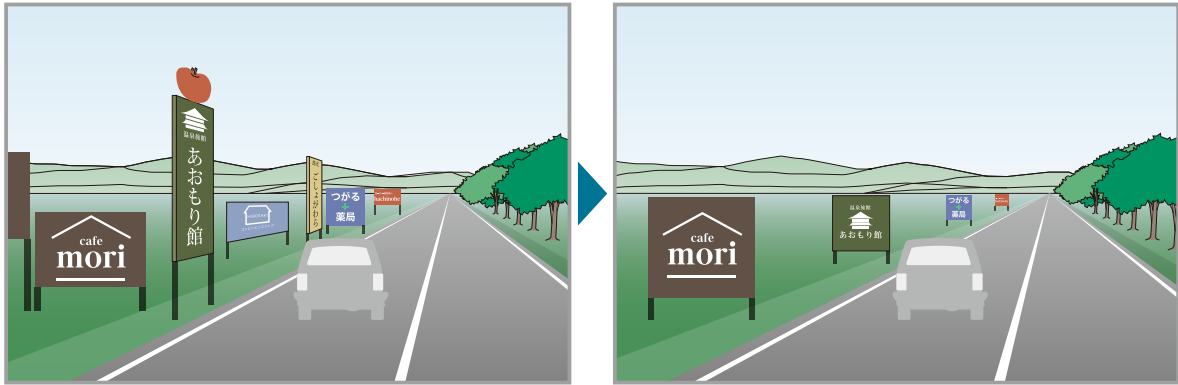
青森県五所川原市



青森県東北町

■豊かな田園・果樹園を見渡せるよう広い視界を確保する

設置数を抑える	広告物の設置数を抑え、設置間隔を十分確保する。
表示面積を抑える	広がりのある景観を保つため、表示面積を抑える。
高さを抑える	地上からの高さを抑える。
隣り合う広告物の高さを揃える	連続する広告物の高さを揃えることで、広告物のスカイラインを整える。
設置位置と設置向きを揃える	道路境界からの設置距離や設置の向きを揃え、広告物相互の秩序を整える。



「高さを抑える」「設置位置と設置向きを揃える」「隣り合う広告物の高さを揃える」
※必要最小限の表示のみとする

参考：シミュレーション



高さを4m以下にした場合



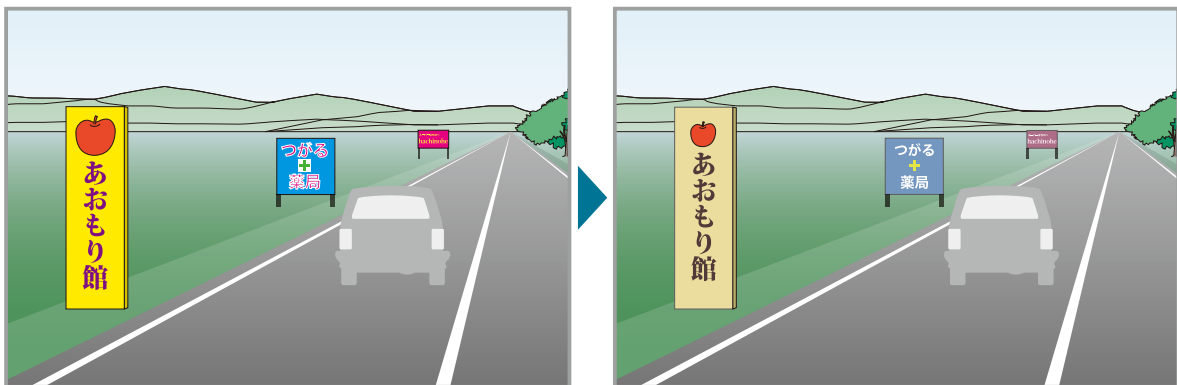
■背景となる田園・果樹園を美しく見せる色彩計画を行う

地色は周辺の景観に調和させる

広告板の支柱や背面、表示面の地色は周囲の景観に調和する色とする。

彩度の高い色を使う場合は面積を小さくする

彩度の高い色彩は、面積を小さくする。多色づかいは避ける。



「地色は周辺の景観に調和させる」「彩度の高い色を使う場合は面積を小さくする」

田園・果樹園景観での色彩の扱い方



●景観に馴染む色

地色の彩度を抑えることで、対比効果によりそれぞれが引き立ちます。



●彩度の高い色

高彩度の色彩を用いる場合はアクセントとして使用すると効果的です。

B: 眺望のある広告景観

壮大な山並みや海岸線への清々しい眺めを守る

遠く水平線まで見渡せる海浜、日本百名山である岩木山、八甲田山への眺望など、青森県にはダイナミックな自然環境があります。広告物を抑制することで素晴らしい眺めを守り、良好な景観づくりへ寄与します。

■ 海への眺望を大切にする

■ 山への眺望を大切にする

■ 高台からの眺望を守る



青森県青森市



青森県青森市



青森県弘前市



青森県深浦町



富山県富山市

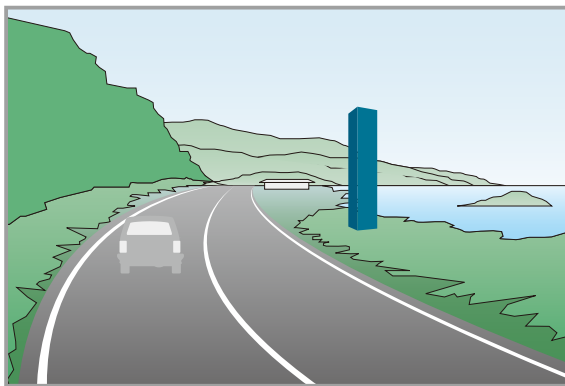


青森県田舎館村

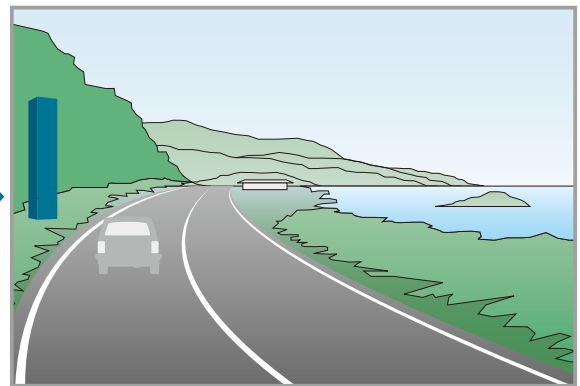
■海への眺望を大切にする

眺望方向に広告物を設置しない

海への眺望を確保するため、海側への設置は避ける。



「眺望方向に広告物を設置しない」



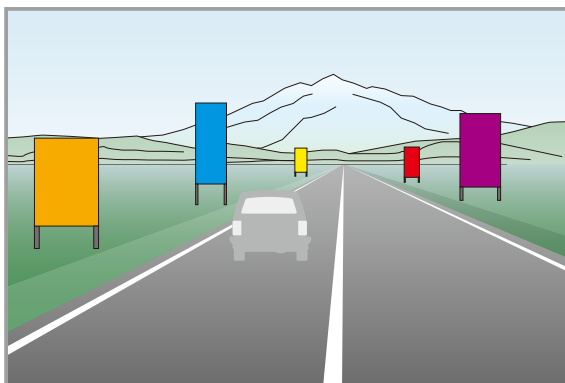
■山への眺望を大切にする

表示面の彩度を抑える

鮮やかな緑や空の青を引き立てるよう、大きな面積となる部分は彩度を抑え背景と調和するようにする。

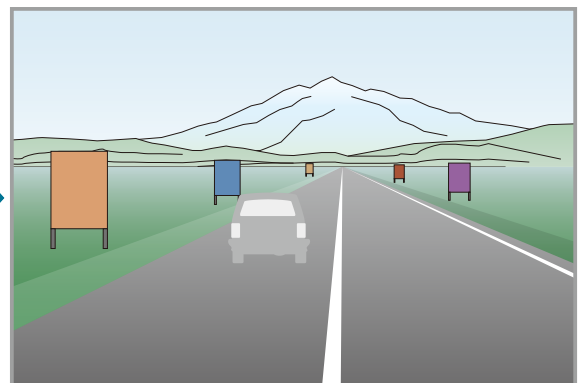
高さは背景の山並みの高さを意識する

山頂から麓まで広がる景観を楽しめるよう、広告物の高さは抑える。



「表示面の彩度を抑える」「高さは背景の山並みの高さを意識する」

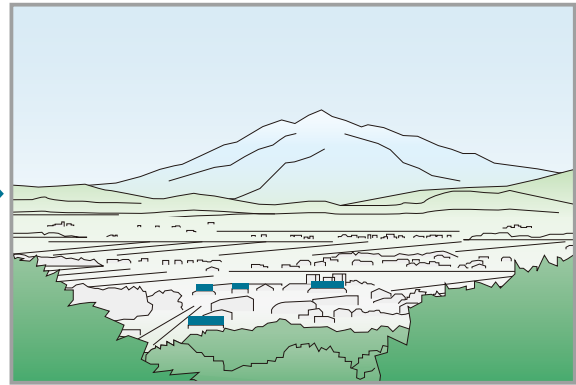
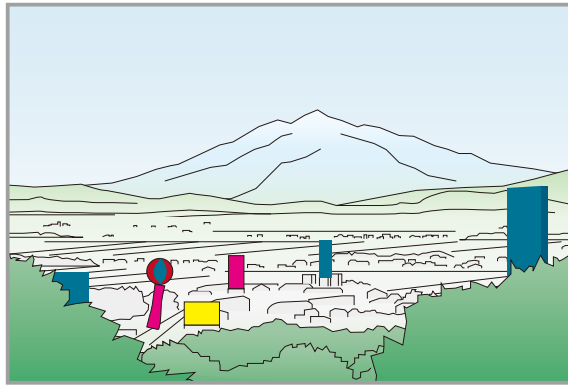
※必要最小限の表示のみとする



■ 高台からの眺望を守る

眺望を阻害しない

広告物が周辺から突出していないかを意識し、設置位置やサイズ、形状および色彩を計画する。



「眺望を阻害しない」

参考事例



岩木山の眺望を確保するために広告物が撤去された事例



良好な眺望景観 ー青森県黒石市ー

C: ロードサイドの広告景観

まちとまちを結ぶ、都市の背骨となる広告景観をつくる

様々な形状、高さ、大きさの広告物が乱立しがちなロードサイドは、一定の秩序を与えることで各々の広告物への視認性が向上し、広告効果を高めることへとつながります。

- スカイラインを整えるよう、隣り合う広告物とのバランスを保つ
- 道路の幅員に応じて大きさを整える



スイス インターラーケン



青森県五所川原市



アメリカ ラスベガス



富山県富山市



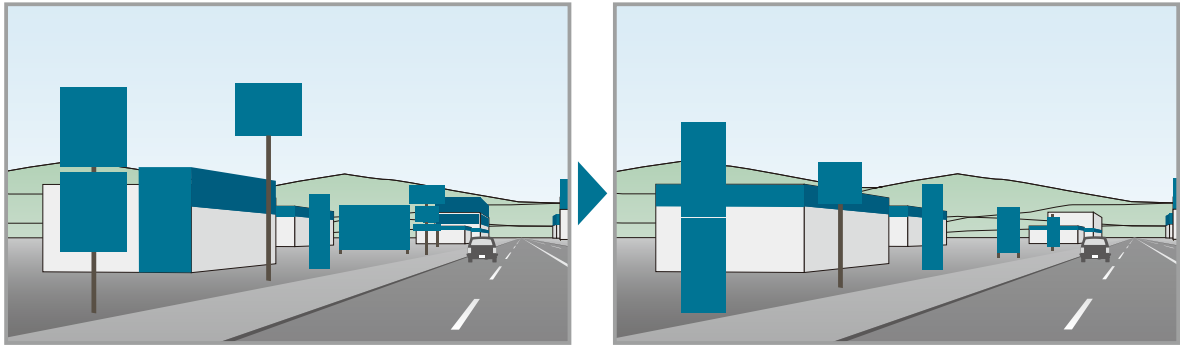
神奈川県川崎市



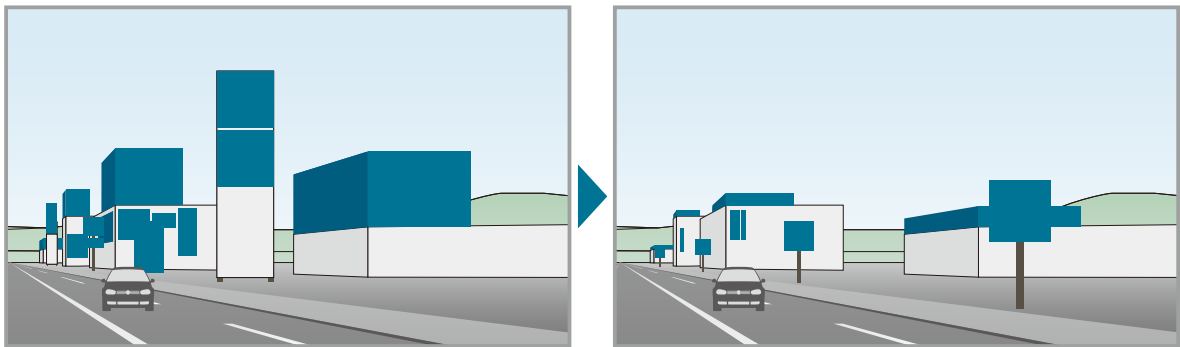
長野県大町市

■スカイラインを整えるよう、隣り合う広告物とのバランスを保つ

高さを揃える	広告物の地上からの高さを隣接する周囲の広告物や建築物と揃える。
形を揃える	広告物の縦横比率を隣接する周囲の広告物に揃える。
設置間隔を十分に確保する	設置間隔を十分に取り、隣接する広告物の視認性を阻害しない。
設置位置を揃える	道路境界からの設置位置を揃える。
見通しを良くする	看板下部を柱状にするなど視界を妨げない工夫をする。



「高さを揃える」「設置位置を揃える」「設置間隔を十分に確保する」



「高さを揃える」「形を揃える」「見通しを良くする」

参考：シミュレーション



高さを7m以下にした場合

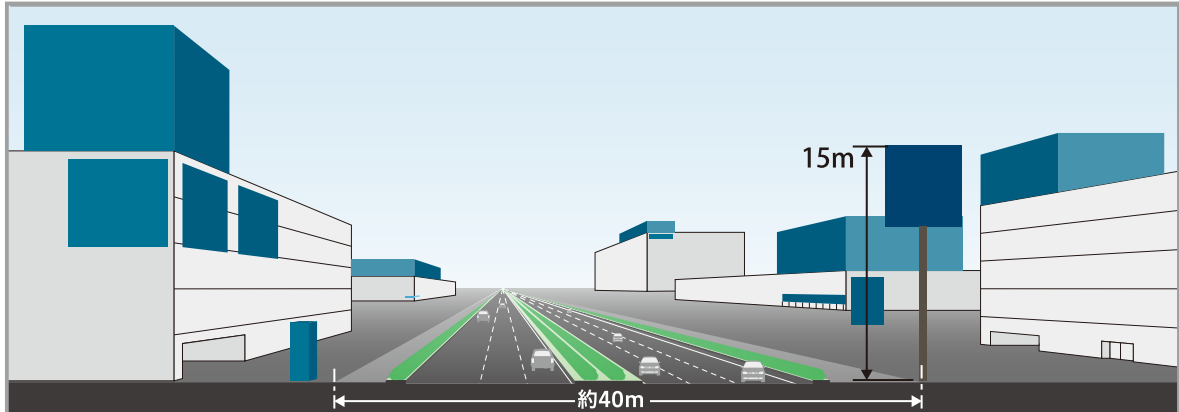


■道路の幅員に応じて大きさを整える

圧迫感の少ない高さや面積にする

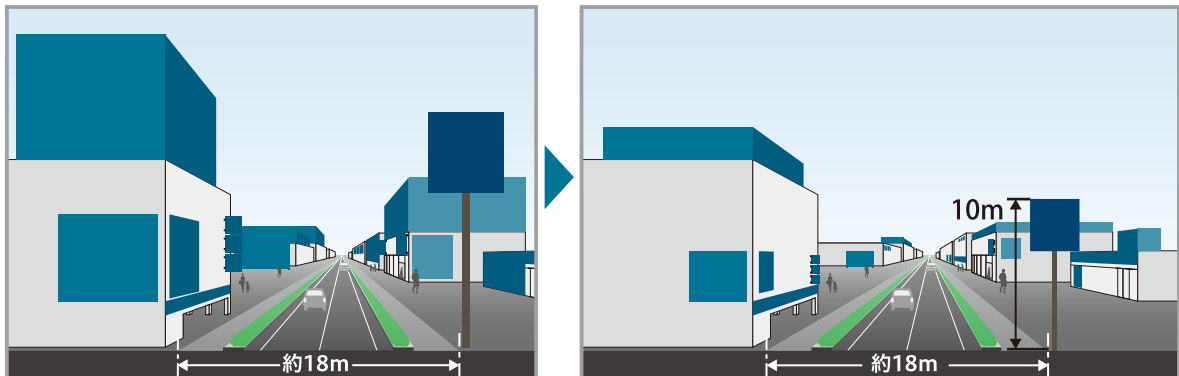
幅の広い国道やバイパス、幅の狭い県道や市町村道等、それぞれ道路幅員に応じた高さや面積にする。

幅の広い道路の場合



幅の広い道路では、空間が開けているため、比較的大きな広告物の掲出でも圧迫感を感じない

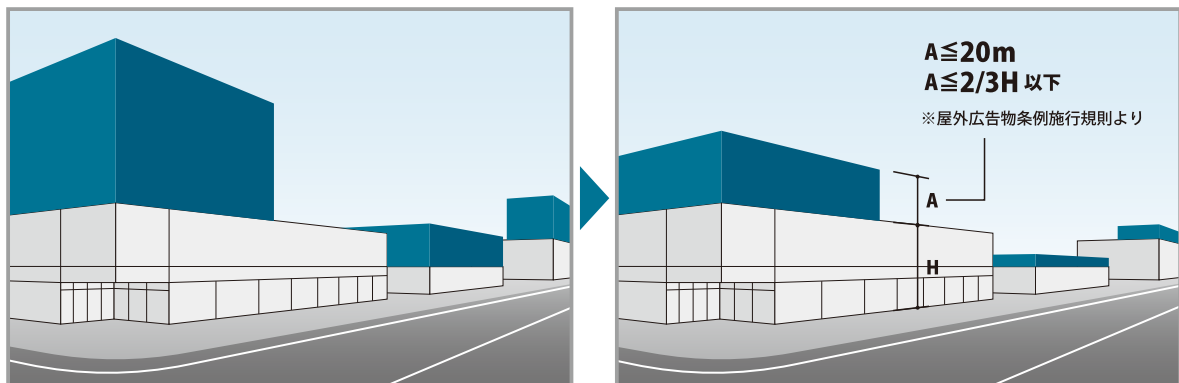
幅の狭い道路の場合



幅の狭い道路では、見通しが悪くなるため、道路幅に応じた大きさにすることで、圧迫感を感じさせないようにする

建築物とのバランスを考慮する

建築物の屋上を利用した広告物は、高さや面積が建築物としての一体感をもった適切なサイズとする。



「建築物とのバランスを考慮する」

D: 市街地の広告景観

まちの生活、文化、賑わいの中心となる広告景観をつくる

街路における1階部分では歩行者への賑わい空間をつくり、2階以上の高さでは歩行者とドライバーに対して秩序ある広告物を掲出することで、広告効果の高い、良好な景観づくりへとつながります。

■ 歩行者空間の賑わいをつくる

■ 広告物で街並みを整える



東京都台東区



アメリカ ニューオーリンズ



千葉県柏市



東京都新宿区



東京都台東区



三重県伊勢市

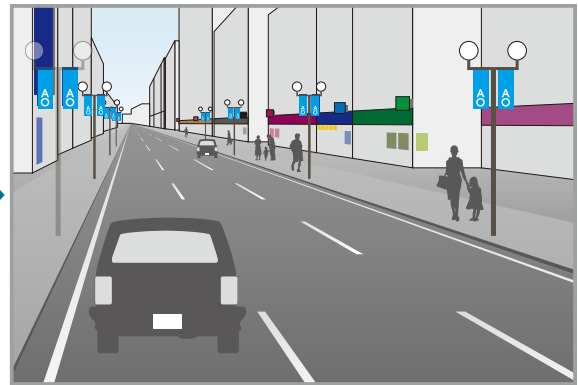
■歩行者空間の賑わいをつくる

1階部分のデザインを意識する

駅前通りなど人通りの多い場所では、一階部分の入口周りのデザインを沿道全体で考える。

歩行者空間の連続性をつくる

素材や色彩、形状に共通性を持たせるなど、歩行者空間の連続性をつくる。



「歩行者空間の連続性をつくる」

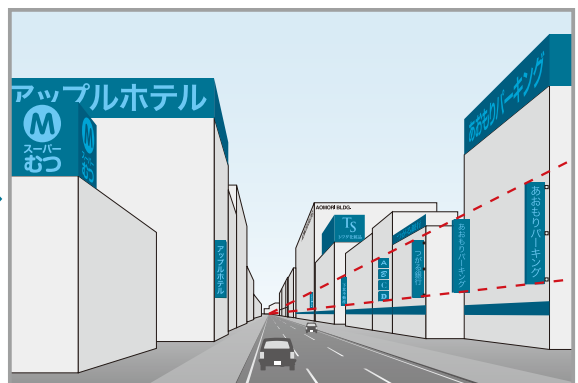
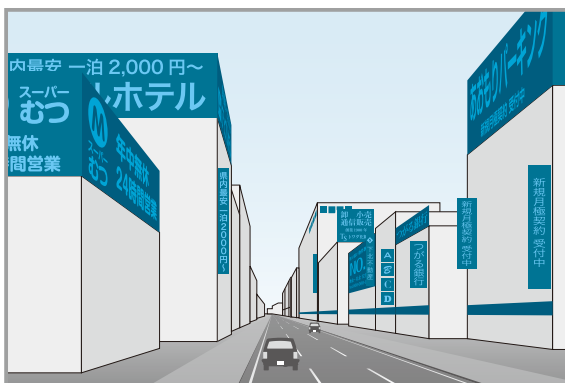
■広告物で街並みを整える

そで看板を揃える

隣接するそで看板は、壁面からの出幅や、上端・下端を揃える。

情報量を抑える

ビルや商店の広告物は、名称やロゴマーク等、最低限の情報とする。



「そで看板を揃える」「情報量を抑える」

E: 観光地・観光ルート of 広告景観

目的地へ適切に導くとともに、旅の高揚感を高める

観光地の玄関口や観光ルート上の広告物は、観光資源の案内誘導だけでなく、観光地のイメージを伝え、賑わいづくりの役割を担います。魅力的な広告物により独自性や活力のある景観づくりが期待できます。

- 目的地まで分かりやすく案内する
- 観光地の魅力が伝わる表現にする
- 景観へ配慮した集合看板により情報を集約する



福島県北塩原村



福島県会津若松市



福島県猪苗代町



長野県長野市



長野県安曇野市



長野県駒ヶ根市

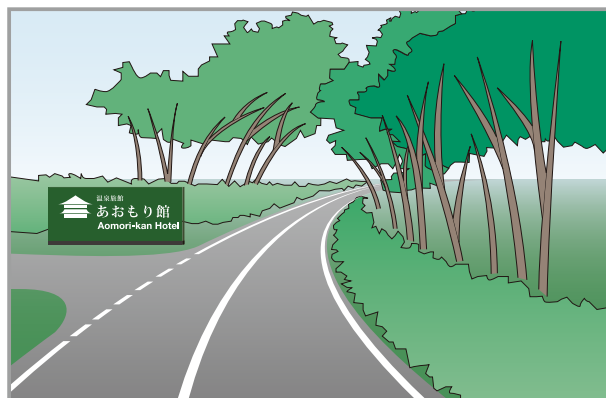
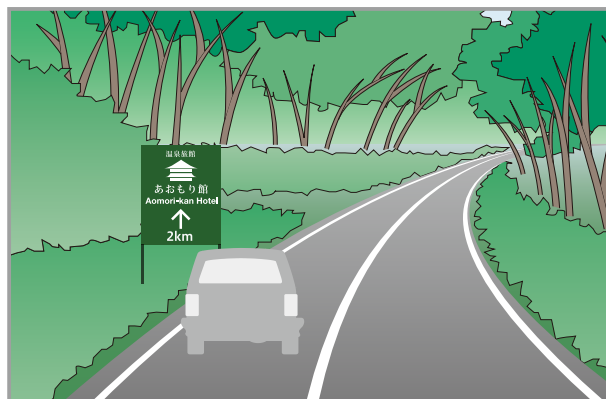
■目的地まで分かりやすく案内する

連続性、統一感のある表現をする

同一の目的地（施設）へは、的確な場所に繰り返し同じ内容を示すことで来訪者へ安心感や期待感につながる。

外国人観光客にも わかりやすい内容にする

設置場所、表示面の大きさに応じて、情報量に配慮しながら的確な外国語表記を進める。



「連続性、統一感のある表現をする」

■観光地の魅力が伝わる表現にする

地域や資源のイメージが
伝わるような計画をする

広告物の形状、色彩、素材に共通性をもたせ、地域の
独自性を発信する。

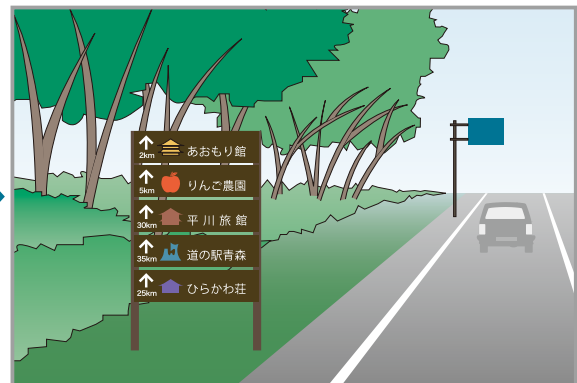
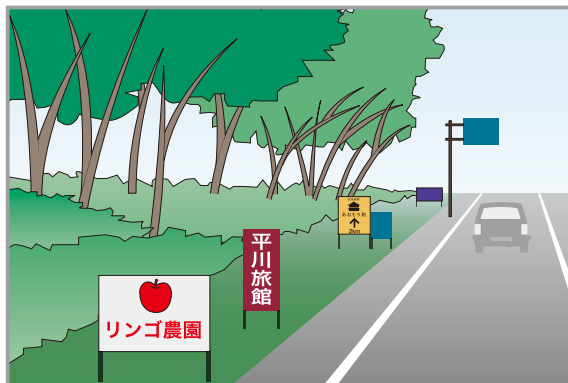


「地域や資源のイメージが伝わるような計画をする」

■景観へ配慮した集合看板により情報を集約する

集合看板で
観光地のまとまりを示す

複数の広告物はまとめて設置することで、観光地域の
集積や回遊性を観光客に伝えるようにする。



「集合看板で観光地のまとまりを示す」